

資料配布場所

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会

平成25年10月31日

国土交通省国土技術政策総合研究所
つくば市

つくば市二の宮小学校の「通学路」で交通安全対策の社会実験を実施します

国総研は、つくば市二の宮小学校の「通学路」において、つくば中央警察署の協力の下、交通安全対策を行う社会実験（実道での対策の試行）を実施します。

実験結果は、つくば市においては、つくば市二の宮小学校通学路の交通安全対策の事業実施に活かすとともに、国総研においては、全国の生活道路の交通安全対策の研究に活かすこととしています。

通学路の交通事故が社会問題となっている中で、国総研が生活道路の交通安全対策の研究のため社会実験を行うものであり、路側帯（歩行部分）拡幅・カラー化、交差点入口狭さく、ハンプ（凸部）、シケイン（屈曲部）設置等5種類の対策を、効果把握のため、3期に分けて実施することを予定しています。実験結果は、つくば市においては、二の宮小学校の「通学路」や他の通学路の交通安全対策に役立てるとともに、国総研においては、全国の生活道路の交通安全対策の研究に活かすこととしています。

記

1. 実施期間（予定）および実験内容（詳細は別紙参照）

実施期間：平成25年10月28日（月）～12月20日（金）

第1期：11/11（月）～11/15（金）：路側帯（歩行部分）の拡幅、交差点入口狭さく、等

第2期：11/25（月）～11/29（金）：路側帯のカラー化、ハンプ（凸部）設置（11/25 設置 29 撤去）、等

第3期：12/9（月）～12/13（金）：シケイン（屈曲部）設置、等

※ 実施期間は、天候状況等により、変更する場合があります。

※ 設置作業等は、ハンプを除き、第1期、第2期、第3期の前後の期間で行います。

2. 実験実施場所（詳細は別紙参照）

つくば市二の宮小学校区の一部の区間

3. 主な調査内容

走行速度、走行位置、交通量、安心感等の変化を調査します。

以上

問い合わせ先

国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路研究部 道路空間高度化研究室 藪（やぶ）・大橋

TEL：029-864-4539 FAX：029-864-2873

社会実験の対象路線

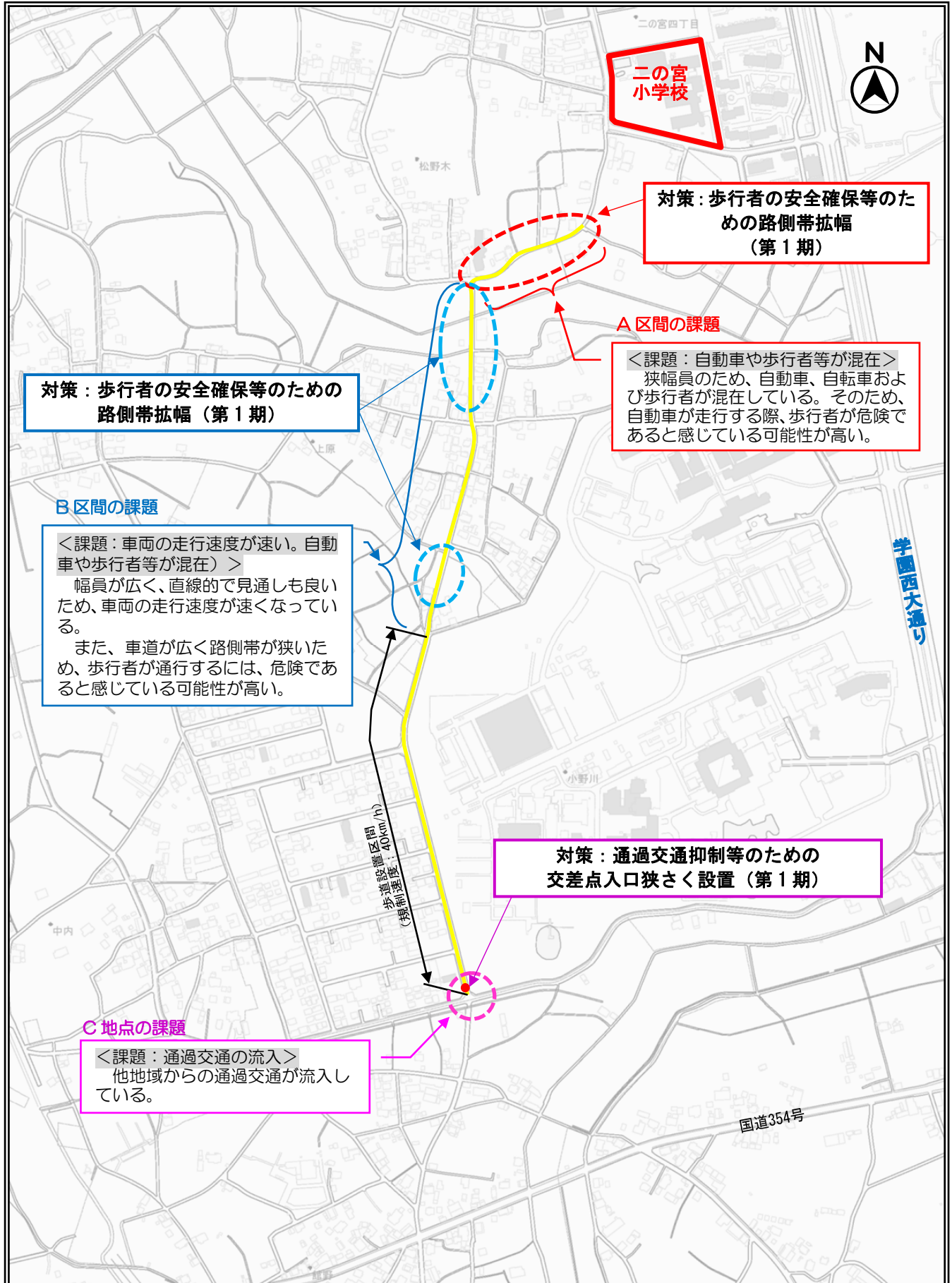
社会実験の対象路線は、つくば市松野木地内～つくば市小野川地内までの約 1.3 kmの区間です。



この背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

社会実験の概要図（第1期）

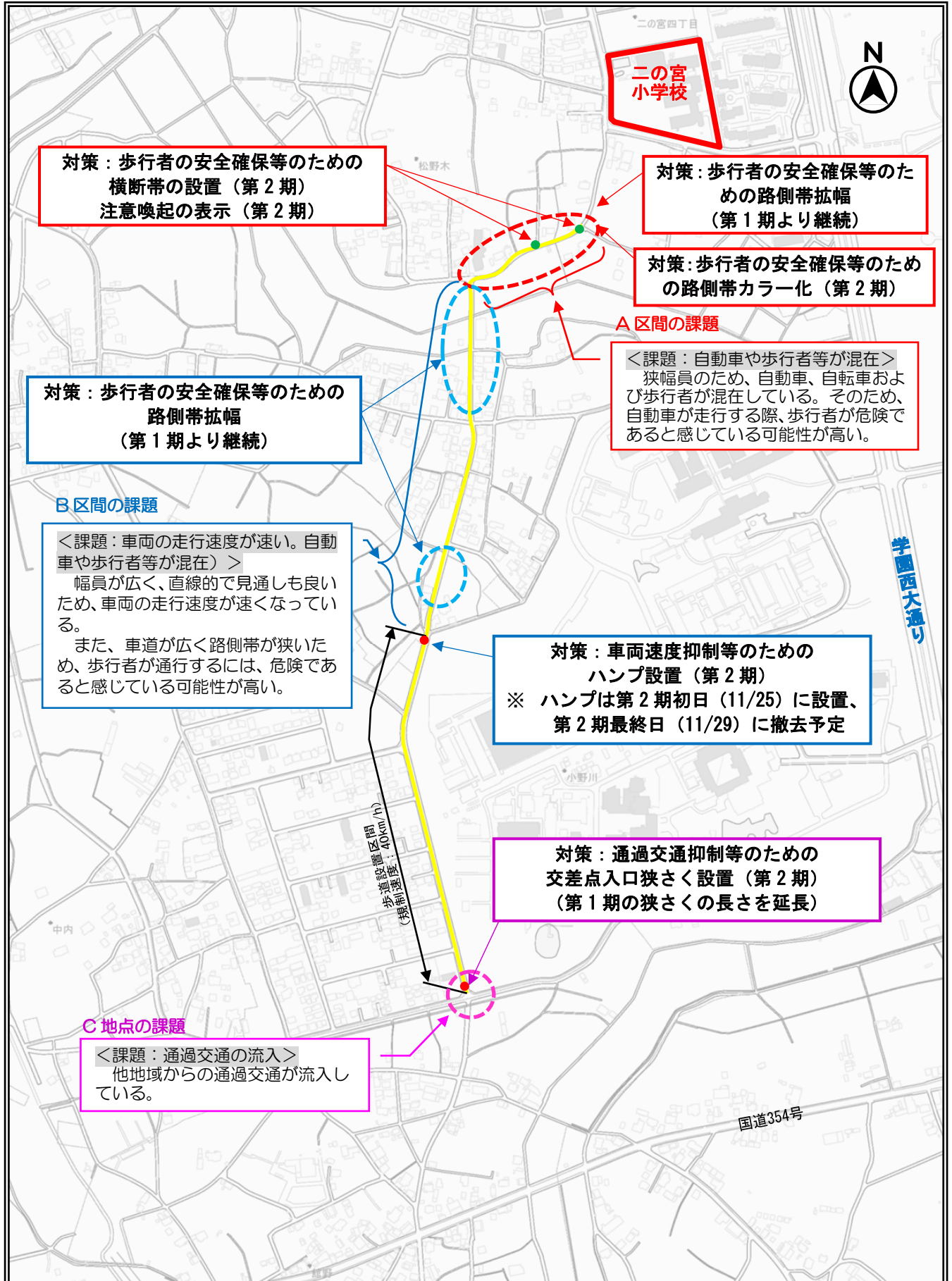
（区間名A, B, Cは、便宜的に付与したもの）



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平25情使、第466号）

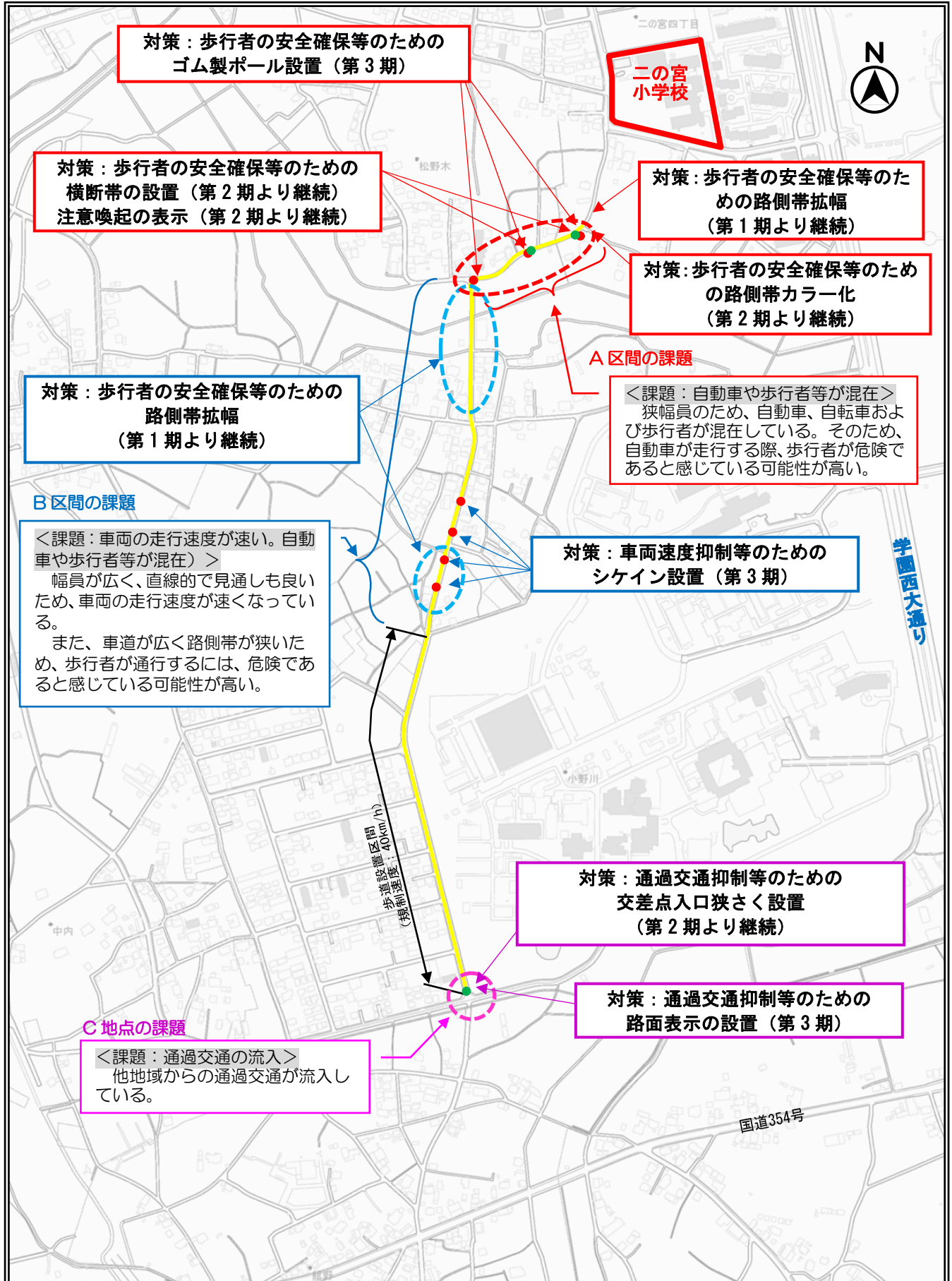
社会実験の概要図（第2期）

（区間名A, B, Cは、便宜的に付与したもの）



社会実験の概要図（第3期）

（区間名 A, B, C は、便宜的に付与したもの）



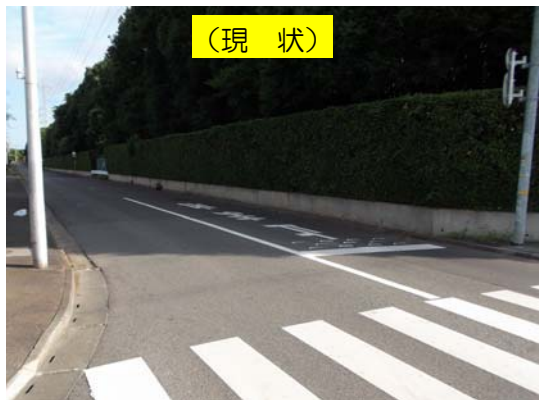
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平 25 情使、第 466 号）

二の宮小学校通学路交通安全対策のイメージ

路側帯の拡幅、路側帯のカラー化、ポールの設置



交差点入口狭さくの設定



シケインの設置、路側帯の拡幅



ハンプの設置



速度抑制施設について

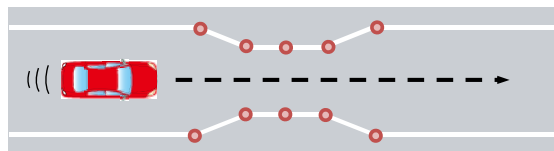
道路上に設置することで、自動車の走行速度を低減させるとともに、抜け道利用などの通過交通を抑制し、歩行者の安全を確保するための施設。

・ 狭さく^{きょう} ・ ハンプ ・ シケイン etc...

① 狭さく^{きょう}・・・車道幅員がポールなどにより物理的に狭くされている部分

目的:

車両の通行部分の幅を物理的に狭くすることにより、運転者に対し減速を促すことを目的とした施設。



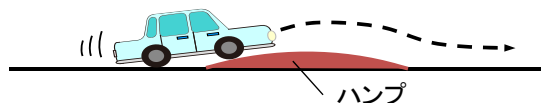
国土技術政策総合研究所 道路空間高度化研究室

NATIONAL INSTITUTE FOR LAND AND INFRASTRUCTURE MANAGEMENT

② ハンプ^{とつぶ}・・・車道路面に設置された盛り上げられた部分(凸部)

目的:

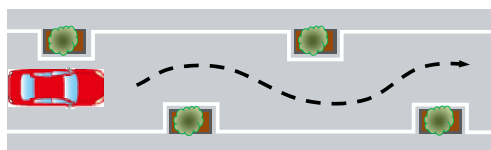
通過する車両を押し上げるため、運転者が事前にこれを視界の中で確認して走行速度を低減することを目的とした施設。



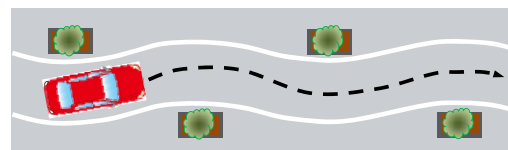
③ シケイン・・・車道がジグザグまたは蛇行している部分

目的:

車両の通行部分の線形をジグザグにし、運転者に左右のハンドル操作を強いることにより、車両の走行速度を低減させることを目的とした施設。



クランク型



スラローム型



国土技術政策総合研究所 道路空間高度化研究室

NATIONAL INSTITUTE FOR LAND AND INFRASTRUCTURE MANAGEMENT

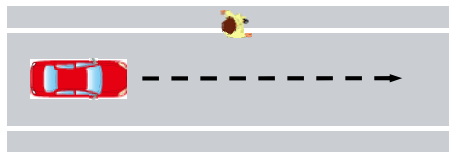
路側帯の拡幅・カラー化について

路側帯は、歩行者が安全に通行するために、白線により明確化された、道路の路端寄りの歩行者の通行空間。

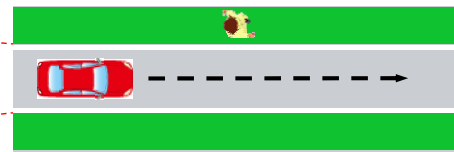
路側帯・・・歩道が設置されていない道路で、白線で区切られた道路端の部分

目的：

歩行者の通行空間を明確化することによって、歩行者が安全に通行できる空間を確保。



対策前



対策後（路側帯の拡幅・カラー化）

※路側帯は、基本的に歩行者が通行するために設けられた場所であり自動車は通行できません。
ただし、軽車両（自転車など）は通行することができます。

